

農業、林業、水産業、農村文化体験、伝統の継承、学生・若者の活躍、関係人口の創出

地域活性化を、みんなのものに。

活動の経緯

自らが農山漁村で居候をしている時に農山漁村の最大の資源である先人の知恵と文化を守ることが地域の活性化だけでなく地球環境を守ることに繋がることに気付き、誰でも農山漁村での生活を体験できる仕組みを提供することに取り組む。

活動の概要

全国から学生を募集し、離島や農山漁村で10日間共同生活し、各地域で必要としている農作業、空き家改修、ビーチクリーン、伝統行事の担い手などをお手伝いをするプログラムを企画運営。



離島での活動の様子



自然放牧をしている世話人と参加者と共に

活動の成果、主な実績等

○本取組では全国30地域以上の離島や農山漁村で暮らすキーパーソンと連携し、各地域で必要とされているお手伝いを行っており、活動地域は平成30年度の20地域から令和4年度の24地域へ増加、参加者は平成30年度では470人でその後新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが令和4年度にほぼ回復している。

○「ありのままの地域住民と若者の交流機会」を創出することで、参加者側は第二のふるさとと家族を手に入れ、地域住民側は作業負担が減るほか、地域資源を再発見する機会を得る効果が生まれた。また、活動終了後に再訪または移住する者もあり、地域が活気付くことに貢献している。